

# 橋梁の耐震対策により、鉄道の安全・安定輸送を確保する

5か年加速化対策

国土強靱化

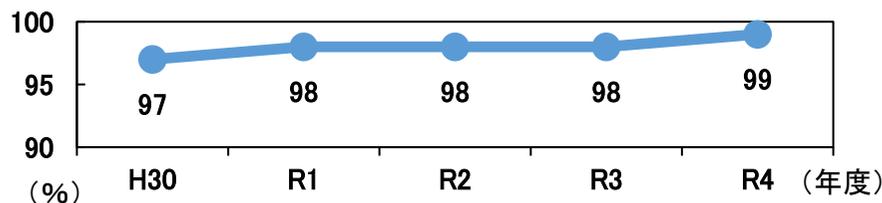
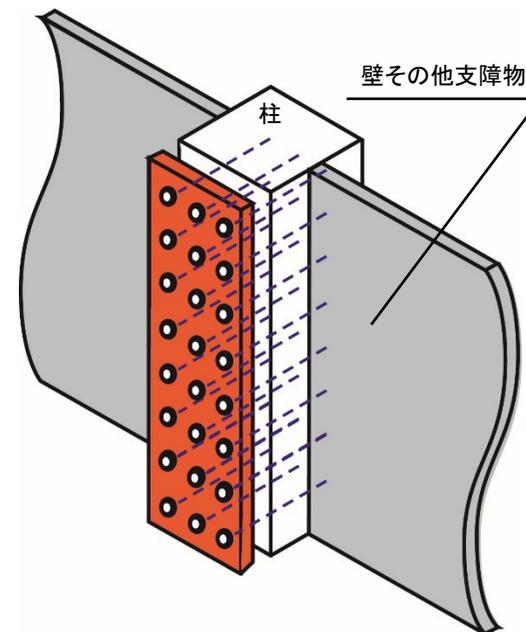
災害時に効果が見込まれる事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要: 柱、基礎等の耐震補強を実施することで、大規模地震による駅、高架橋等の倒壊・損傷を防止し、震災時においても鉄道としての機能維持が可能になる見込みである。

対策名: 60 大規模地震による駅、高架橋等の倒壊・損傷対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体: 東葉高速鉄道株式会社
- 実施場所: 千葉県八千代市
- 事業概要: 東葉高速線の橋梁において、大規模地震時に不足する橋脚のせん断耐力を補い、損傷を防止するため、橋脚6本(一面せん断補強)の耐震補強を実施した。
- 事業費: 0.35億円(令和4年度)  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.35億円)
- 想定している災害、効果見込み: 首都直下地震等の大規模地震による橋りょうの損傷レベルを最小限に抑え、震災時においても鉄道としての機能維持が可能になる見込みである。また、本線路は1日あたり片道断面輸送量約8万人であり、本補強を実施することにより、大規模地震時の橋りょうの損傷を抑えることで、地域の安全確保にも寄与する見込みである。



首都直下地震・南海トラフ地震で震度6強以上が想定される地域等に存在する主要鉄道路線の耐震化率  
※令和4年度末までの目標としていた100%を概ね達成。